

2021年 4月30日

## 国民体育大会四国ブロック大会実施に向けた感染拡大予防について

四国体操協会  
徳島県体操協会

安心・安全な大会運営とするために、主催者として感染拡大防止対策を徹底します。感染拡大防止のために参加者の方々のご理解とご協力をお願い致します。

### 1. 基本的考え方について

飛沫感染防止対策として、「3密を避ける」「咳エチケット」「身体的距離の確保」「マスクをする」、接触感染防止対策として「こまめに手を洗う」「手指消毒」を重要視する。公益財団法人日本体操協会「体操イベント実施に向けた感染拡大予防ガイドライン」及び「体操活動における感染拡大予防ガイドライン」、を遵守し、徹底した感染拡大防止策を施します。

### 2. 自主的に大会参加を見合わせる場合

- ① 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航、又は当該在住者と濃厚接触がある場合

### 3. 確認事項

- ① 大会参加者は受付にて、施設利用2週間前からの「健康調査票」の記録を呈示し、健康に異常のないことを確認します。異常が確認された場合は、入場できないことがあります。特に、「自主的に参加を見合わせる場合」が確認された場合は、大会出場ができません。(各県体操協会事務局にメールにて配布する)
- ② 受付時に非接触型体温計で検温、手指消毒をすること。
- ③ マスクを着用すること。(不織布マスク奨励) 選手のみ競技中はマスクの着用は求めない
- ④ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をすること。
- ⑤ 選手は演技や練習中、マスクを着けずに行い、それ以外(更衣室等)はマスクを着用すること。
- ⑥ 観覧席での大きな声で会話、応援をしないこと。
- ⑦ 炭酸マグネシウムは各県に1つタンマ台を用意します。種目変更毎に移動させてください。個人が用意する場合は持ち歩き、放置したり他の参加者が使用することが無いようにすること。チームで共有する場合は事前消毒を原則とすること。

- ⑧ 競技中に選手同士での円陣を組んでの声かけ等を行わないこと。
- ⑨ 競技中や練習時に、大きな声を出しての「声かけ」や「カウントとり」は極力避けること。
- ⑩ 食事に当たり飛沫を飛ばさないために、向かい合わせにならない、また会話を控えること。
- ⑪ ごみ等はすべて持ち帰ること。
- ⑫ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の厳守をすること。
- ⑬ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、「徳島県体操協会」に濃厚接触者の有無について報告すること。

#### 4. 観客制限について

- ①一般の方・保護者・家族についても2階観覧席からの応援はできません。(無観客)
- ②選手・監督・コーチ・補員及び各県体操協会役員のみ観覧席からの観覧を許可します。  
(選手・監督と同じく健康調査表の呈示・検温は毎日受付で行ってください)

#### 5. 危機管理体制

大会期間中に、感染者やその疑いがある者が出るなどの緊急事態が生じた場合は、速やかに主催・主管協会に連絡をし、その後対応策の指示に従うこと。

#### 6. 関連情報

- ① 日本体操協会「体操イベント実施に向けた感染拡大予防ガイドライン」  
[https://www.jpn-gym.or.jp/wp-content/uploads/2020/08/JGA\\_Event\\_Guideline200916.pdf](https://www.jpn-gym.or.jp/wp-content/uploads/2020/08/JGA_Event_Guideline200916.pdf)
- ② 日本体操協会「体操活動における感染拡大予防ガイドライン」  
[https://www.jpn-gym.or.jp/wp-content/uploads/2020/05/JGA\\_GYM\\_COVID19\\_Guideline1.pdf](https://www.jpn-gym.or.jp/wp-content/uploads/2020/05/JGA_GYM_COVID19_Guideline1.pdf)
- ③ 徳島県新型コロナウイルス受診・相談センター(保健所)  
☎0570-200-218(24時間体制)
- ④ 一般相談窓口(感染症・疾病対策室の電話相談窓口)  
☎0120-109-410(24時間体制)